

関係部署へ  
回覧下さい

# 輸送包装研究例会

～輸送包装全般の課題解決に向けて～

日時	2019年7月24日(水) 13:15～16:40
会場	愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階1103会議室 名古屋市中村区名駅4-4-38
参加費	会員は無料 / 一般は5,400円(税込み)
その他	会場内録音・撮影禁止です

## プログラム

### コーディネーター

(株)アステックコーポレーション 東日本事業所 副事業所長(包装管理士) 岡田 俊紀 氏  
京セラ(株) 滋賀八日市工場物流事業部物流技術課 副責任者(包装専士) 瀬戸上 裕 氏

### 13:15～14:00 「機能性段ボールの用途展開と低摩擦段ボール【コスレン】の開発」

レンゴー(株)中央研究所 商品第一部商品開発第一課 主任(包装管理士) 所 のぞみ 氏

段ボールの重要な役割は、内容品を安全に品質の劣化なく届けることにあります。しかしながら製品によっては、その力学的な保護機能だけでは不十分な場合があり、特殊機能を付加した機能性段ボールが求められてきました。これらの機能性段ボールの用途展開とともに、輸送中に段ボールとの摩擦で発生するフィルムのピンホールや紙ラベルの擦れを軽減できる低摩擦段ボール「コスレン」についてご紹介します。

### 14:00～15:00 「青果物輸送の円滑化に寄与する発泡スチロール製ワンウェイパレットの特長」

長崎県農林技術開発センター 研究企画部門 研究企画室 専門研究員 土井 謙児 氏

長崎県産青果物の消費地への長距離輸送については、トラックドライバーの重労働(手荷役)、長時間拘束などの問題があり、今後円滑な輸送が困難になる可能性があります。青果物のパレット輸送化については、九州などの市場遠隔地ではパレット回収率や回収コストの面から普及しにくい状況もあります。そこで、ワンウェイ(片道使用)を前提とした、軽量で必要な強度があり、リサイクル可能なパレットを開発しましたのでご紹介します。

15:00～15:10

<休憩>

### 15:10～16:40 「スチール製輸送容器の特徴と評価試験の試験方法」

親和パッケージ(株)BS事業推進室 室長(包装専士) 渋谷 昌宏 氏

ワンウェイ輸出用梱包容器には、木箱や段ボールケースが一般的に使われることが多いですが、スチール製輸送容器の特徴は、誰でも簡単にスピーディーに、組立て・開梱が可能で、強度的にも優れていることです。今回は、①ワンウェイスチール製輸送容器の特徴、②リターナブルスチール輸送容器の特徴および運用方法、③信頼性を確認するための評価試験に対する当社の取組み(主に、振動試験)について、紹介します。